

# 平成29年度第1回「宅地地盤の評価に関する最近の知見講習会」のお知らせ

共催：公益社団法人 地盤工学会・地盤品質判定士協議会  
後援：公益社団法人 土木学会・一般社団法人 日本建築学会  
一般社団法人 全国地質調査業協会連合会・一般社団法人 建設コンサルタンツ協会  
NPO 住宅地盤品質協会・一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会  
一般社団法人 地盤保証検査協会・公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会

2011年3月の東日本大震災や2016年4月の熊本地震では、液状化や盛土・擁壁崩壊などで、2013年10月の伊豆大島豪雨災害や2014年8月の広島豪雨災害では、土石流などにより宅地が大きな被害を受けました。これらの地盤災害を契機として、宅地地盤の周辺地形地質環境を含めた地盤の安定性と地盤リスクを適切に評価することの重要性が再認識されています。宅地地盤の状況を、限られた情報の中での的確に把握・評価するためには、携わる技術者が地盤工学に関する高度な専門知識と技術者倫理を有するだけでなく、常に新しい知見を得る必要があります。そこで、公益社団法人 地盤工学会では、住宅地盤に関わる最近の話題・知見を集めた講習会を企画致しました。奮って御参加下さい。

G-CPD ポイント：6.5

コース：土質・基礎コース、調査・設計・施工コース、国際・一般教養コース

日時：平成29年6月27日（火）9:30～17:30

会場：地盤工学会 大会議室（東京都文京区千石4-38-2, Tel 03-3946-8677）

会費：会員 12,000円 非会員 15,000円（消費税を含む）

注：会員には、地盤工学会員、地盤品質判定士(補)、後援団体所属を含む

配布資料：本講習会のために講師の方が作成する説明資料の縮小コピーを配布します。

定員：70名

内容・講師(案)：

時間	内容(仮称)	講師(候補案)
9:30～10:10 (40min)	地盤品質判定士の役割	谷 和夫 (東京海洋大学)
10:10～11:10 (60min)	宅地防災に関する地形・地質情報の活用	上野 将司 (応用地質)
11:20～12:20 (60min)	熊本地震における地盤と住宅被害	森 友宏 (前橋工科大学)
13:20～14:20 (60min)	宅地地盤評価と基礎設計における土木的視点と建築的視点の違い	松下 克也 (ミサワホーム総合研究所)
14:20～15:20 (60min)	宅地造成および土砂災害に関わる法体系	西村 真二 (都市再生機構)
15:30～16:30 (60min)	宅地用造成地盤の品質評価のポイント	諏訪 靖二 (諏訪技術士事務所)
16:30～17:30 (60min)	地盤に関わる訴訟事例から見た地盤分野特有の課題	高木 秀治 (プラス法律事務所)

注：都合により内容、講師、順番等が変更になる場合があります。

## 講習会申込み方法および申込み先：

氏名、勤務先・同住所・同電話番号、FAX、メールアドレス、会員（会員番号）・非会員の別を明記した申込書をFAXまたはメールでお送り下さい。参加受付後、請求書と郵便振替用紙をお送りいたしますので、会費のご納入は請求金額をご確認のうえ郵便振替（または銀行送金）をお願いいたします。なお、銀行送金の場合には、請求番号と送金日を別途FAXまたはメールでご連絡下さい。

地盤工学会講習会係 E-mail:kosyukai@jiban.or.jp FAX:03-3946-8699 電話：03-3946-8671